



Fujitsu Handheld Terminal

Patio600

(Android™9)

取扱説明書

目次

はじめに	4
安全な使用のために	4
VCCI 適合基準について	4
ハイセイフティ用途への使用について	4
ウイルス感染のシステム対策について	4
Android Update について	4
事業系の使用済み製品の引取りとリサイクルについてのごお願い	4
第二世代小電力データ通信システム無線局の運用について	5
警告表示・警告マークについて	6
警告表示	6
警告マーク	6
安全上の注意事項	7
表記上の約束ごと	9
使用しているマーク	9
正しく使用していただくために	10
バッテリーについての注意事項	10
長期保管方法	10
掃除の方法	10
1 各部の名称および外観図	11
1.1 本体	11
1.2 LAN クレードル/USB クレードル	12
1.3 本体 4 連充電器	12
2 最初に行う作業(セットアップ)	13
3 本製品の使用方法	16
3.1 電源を入れるには/切るには	16
3.1.1 電源を入れるには	16
3.1.2 電源を切るには <<重要>>	16
3.2 音量を調節するには	16
3.3 スリープ状態について	16
4 バッテリーの使用方法	17
4.1 バッテリーについて	17
4.2 バッテリーの充電	17
4.3 バッテリーの交換方法	18
5 ハンドストラップの取り付け	19
6 ネックストラップの取り付け	20
7 スタイルスピンの取り付け	20
8 microSD カードの取り扱い	20
9 microSIM カードの取り扱い	21
10 カメラの取り扱い	21
11 自動販売機との通信	22
11.1 通信時の操作方法	22
11.2 装置の通信可能範囲	23
12 スキャナの取り扱い	23
12.1 スキャナの操作方法	23

12.2	二次元スキャナの読み取り動作	24
12.3	二次元スキャナの読み取り特性	25
12.4	バーコードサンプルチャート	26
12.4.1	一次元コードサンプル	26
12.4.2	二次元コードサンプル	28
13	NFC リーダ/ライターについて	29
14	Bluetooth について	30
15	無線 LAN について	31
16	LTE について	32
16.1	LTE の接続設定	32
16.2	APN の設定	32
17	外部機器との接続	33
17.1	LAN/USB クレードル・本体 4 連充電器との接続	33
17.2	本体充電器との接続	34
18	清掃方法	35
18.1	本製品カバー部	35
18.2	本製品表示部	35
18.3	本製品スキャナ窓部	35
18.4	本製品端子接触部	35
18.5	クレードル・本体 4 連充電器の端子接触部	35
19	設置条件	36
19.1	装置本体	36
19.2	クレードルに本製品を接続した状態	36
19.3	本体 4 連充電器に本製品を接続した状態	36
20	故障かなと思ったら	37
21	付録	38
21.1	仕様	38
21.2	添付品	39
21.3	オプション	39
21.4	サプライ品	40

はじめに

このたびは、Patio600(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、本製品が十分に機能を発揮できますよう、正しい取り扱いをお願いいたします。Google および Android は、米国 Google Corporation の米国および、その他の国における登録商標です。その他、この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

安全な使用のために

この取扱説明書には、本製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。本製品を使用する前に、この取扱説明書を熟読してください。特に、この取扱説明書に記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解した上で、本製品をご使用ください。また、この取扱説明書は、本製品の使用中にいつでも参照できるように、大切に保管してください。弊社は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく、本製品を安全に使用していただくために、細心の注意を払っております。本製品を使用する際には、この取扱説明書の説明に従ってください。

VCCI 適合基準について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

ハイセイフティ用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

ウイルス感染のシステム対策について

本製品は OS に Android を使用しており、その OS の脆弱性からウイルスに感染する危険性があります。システムの運用においては、ウイルス対策ソフト等を購入してウイルス感染対策を行ってください。

Android Update について

本製品では、出荷時までの Google 社の Android 更新プログラム、およびセキュリティ更新プログラムが適用されています。お客様にてシステムアップデートを実施した場合、更新プログラムの内容によっては、OS の動作が変更される可能性があります。システムアップデートを行う場合には、事前検証の上、適用のご検討をお願いします。

事業系の使用済み製品の引取りとリサイクルについてのお願い

装置本体の廃棄について

本製品の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票(廃棄物管理表)の発行が必要となります。製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社(産業廃棄物収集運搬許可業者)にて引取りを行います。

お問い合わせ/お申し込み:

[\(http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/recycle/\)](http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/maintenance/lcm/service-phase4/recycle/)

の製品リサイクルサービスをご参照ください。

当社では 1998 年より、法人・企業のお客さまから廃棄される装置を「富士通りサイクルシステム」(有料)にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。

使用済リチウムイオンバッテリー(リチウムポリマーバッテリー)の廃棄について

リチウムイオンバッテリーは埋蔵量の少ない高価な稀少資源を使用していますが、これらの貴重な資源はリサイクルして再利用できます。ご使用済みの際は捨てないで、リサイクルにご協力下さい。



Li-ion

このマークはリチウムイオンバッテリー(リチウムポリマーバッテリー)のリサイクルマークです。

第二世代小電力データ通信システム無線局の運用について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局等(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。


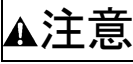
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から「他の無線局」に対し電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. ご不明な点はお買い上げになりました弊社担当営業までお問合せください。

警告表示・警告マークについて






この取扱説明書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないよう、警告表示をしています。

また、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して、注意事項が一目で分かるように配慮しています。警告表示および警告マークは、次のとおりです。

警告表示




 警告	正しくご使用にならない場合に、死亡するまたは、負傷を負うことがあり得ることを示します。
 注意	正しくご使用にならない場合に、軽傷または中程度の障害を負うことがあり得ること、および、当該製品自身またはその他、使用者等の財産に損害が生じる危険性があることを示します。

警告マーク

 感電注意	感電する危険性について記述していることを示します。
 発火注意	火災や感電の危険性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。
 プラグを抜け	コンセントからプラグを抜いて欲しい状況を示します。

安全上の注意事項

警告



 <p>感電注意</p>  <p>発火注意</p>	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタの電源コードを傷つけないでください。感電や火災のおそれがあります。また、電源コードに傷が付いた際には、使用しないでください。● 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因になります。● ACアダプタの入力電源は AC100-240V/50-60Hz をご使用ください。異なる電圧を使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。● 本製品および AC アダプタに対して、濡れた手でのご操作や飲料水などの液体を掛けること、クリップなどの異物を落下させることは避けてください。火災、感電の原因となります。● 万一、機器から発熱、発煙、異臭、異常音が発生した際は、すぐに電源を切り、担当保安員にご連絡ください。火災や感電のおそれがあります。● 装置を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電の原因になります。
 <p>発火注意</p>	<ul style="list-style-type: none">● 電源コードは、ACコンセントに直接接続し、タコ足配線にはしないでください。タコ足配線にすると、ACコンセントが過熱し、火災の原因となることがあります。● 電源コードを AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。また、出力コード(ケーブル)も電源コード同様にプラグ部分を抜いてください。コード(ケーブル)を引っ張ると断線して火災の原因となることがあります。● 本製品および AC アダプタを使用する時は、ホットカーペットの上や、使用中の暖房器具の近くでの使用は避けてください。発熱や火災の原因となることがあります。● 電源コードや AC アダプタはの上に物を乗せたり、布団の上や布などでくるんだりしないでください。感電や火災の原因となります。



一般禁止

- ACアダプタは専用品以外を使用しないでください。専用品以外を使用すると電圧、電流容量などの差異によって、本製品を損傷することがあります。
- 次のような場所には、装置や AC アダプタを短時間でも置かないでください。故障の原因になります。
 - －窓を閉めきった日の当たる車内等、極端に高温になる場所
 - －直射日光の当たる場所
 - －極端に暑い場所、または極端に寒い場所
 - －ほこりの多い場所
 - －激しい振動のある場所
 - －湿気の多い場所、水のかかるおそれのある場所
- バッテリーの取り扱いを誤ると、発熱、破裂発火の原因となります。次のことを必ず守ってください。
 - －火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
 - －金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
 - －針を刺す、あるいはハンマーで叩いたり、踏みつけたり、落としたり等、強い衝撃を与えないでください。
 - －外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。
 - －ショートさせないでください。
 - －バッテリーを濡らしたり、水に入れたりしないでください。
 - －高温となる環境(窓際など)での充電は行わないでください。
 - －電子レンジや高温容器に入れないでください。特にバッテリーは、落下などの衝撃によりバッテリー内部の回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂に至ることがあります。
バッテリーに衝撃を与えた場合、あるいは外観にあきらかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 掃除する時には、濡れぞうきんや化学雑巾、シンナー等揮発性の薬品類は、故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 清掃の際、清掃用スプレー(可燃性物質を含むもの)を使用しないでください。
- スキャナを使用しているとき、スキャナ窓を覗き込まないでください。LED 光を直接目に当てると目を傷める恐れがあります。
- 本製品やバッテリーを、分解したり改造したりしないでください。感電や火災の原因になります。

▲注意

 一般的注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を切らずにバッテリーを本製品から取り外さないでください。本製品が正常に起動しなくなる場合があります。 ● バッテリーを破棄する時は、ショートのないようにバッテリー端子部をテープなどで絶縁し、地方自治体の条例、または規則に従ってください。 ● 品質が著しく劣化する恐れがあるため、バッテリーを充電せず長期間(1年以上)保管しないでください。少なくとも半年に1回は(1時間程度)、充電してください。 ● 使用していない場合はバッテリーカバーをしっかりと閉じた状態で運用してください。カバーを閉めて運用していない場合、以下のような問題が発生する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 浸水やほこりなどの侵入により装置が故障する - 衝撃により装置が故障する ● 濡れたまま長時間放置すると徐々に水が装置内部に入り込んでいく場合があります。故障の原因となります。雨や水滴がついた場合、早急に清潔な布で拭き取ってください。 ● 本製品のクレードル接続インターフェースや USB コネクタ(本体充電器接続部)が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。 ● 本製品および AC アダプタに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。 ● クレードル等の各種オプション充電端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因となる可能性があります。 ● 本製品は、通常操作で直ちに壊れるものではありませんが、万一の事故に備え、以下の対応をお勧めします。 <ul style="list-style-type: none"> - 入力したデータ消失に備え、アプリケーション及び関連データはサーバ等へバックアップしてください。 - 落下防止のため、ハンドストラップやネックストラップ(オプション品)を取りつけてご使用ください。 ● タッチパネルを強く押し続けると画面上に多少の傷跡が残る場合があります。タッチパネルを操作する場合は、指の腹で押すか、専用タッチペン(FHTPN485A)をご使用下さい。 ● 清掃する前には、必ず電源を切ってください。
 プラグを抜け	<ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタを長時間使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグを抜いてください。ほこりなどが溜まることにより、感電や火災の原因になる可能性があります。

表記上の約束ごと

使用しているマーク

マーク	意味
△お願い△	注意していただきたいこと、お願いなどが書いてあります。必ずお読みください。
📖参考📖	参考にしていただきたいことが書いてあります。
>>参照先>>	参照先を示しています。
丸付き数字(①、②など)	操作手順を示しています。①から順に操作してください。
➤	操作に対する結果を示しています。
☒	一連の操作が終了したことを示しています。

正しく使用していただくために

バッテリーについての注意事項

- 満充電状態で長期間の保存は、バッテリーの劣化を招くため、避けてください。
長期間保存する場合には、50%程度の充電状態で常温下で保管してください。
- 長時間放置されたバッテリーは、ご使用前に再度充電を行ってください。
- バッテリーは使用するに従って、使用時間が短くなる特性があります。充電を行っても使用時間が著しく短くなった場合は、バッテリーの寿命と考えられますので新しいバッテリーと交換してください。また、バッテリーの寿命は周囲温度／装置の使用条件により変わるため、業務により温度変化の多いところでの使用等の場合は、使用可能な年数が購入から2年より短く、または使用可能な充放電回数が500回よりも少なくなることがあります。
特に、常に外部電源(クレードル)と接続しながら使用したり、充電間隔が短く頻繁に浅い充放電が繰り返される様な運用形態の場合には、寿命が著しく低下しますので、1年を目安に新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーの端子部を金属類でショートさせないでください。
- バッテリーを加熱したり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- バッテリーを高温環境に放置しないでください。
- 端子部分を濡らしたり、水の中に入れてたりしないでください。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。特にバッテリーは落下などの衝撃により、バッテリー内部の回路基板の損傷によって、発熱、発火、破裂に至ることがあります。バッテリーに衝撃を与えた場合、あるいは外観にあきらかな変形や破損が見られる場合、使用をやめてください。
- 低温下(10℃以下)では、運用時間が常温下に比べて減少することがあります。
想定される環境温度を考慮して、充電管理／運用の検討を行ってください。
- 充電は10℃～30℃の環境にて充電してください。
- 充電催促を知らせるメッセージ(バッテリー状態の通知メッセージ)が表示された場合には、速やかに充電してください。
- 端子部分にゴミや砂などの異物が入らないように注意して使用してください。もし、異物が混入した場合には、無理に本体に接続すると故障の原因になります。
- 満充電のバッテリーでも、時間経過とともに少しずつ自然放電します。必ず使用前(1～2日以内)に再度充電してください。
- 充電は本製品専用のクレードルを使用し、周囲温度が、10℃～30℃の場所で行ってください。バッテリーを長持ちさせることができます。
- バッテリーは端子部分にゴミや異物が付着しないように注意して使ってください。もし、異物が付着した場合には、先の柔らかい綿棒などで完全に取り除いた後、本製品への取り付け、取り外しを数回繰り返してください。
- バッテリーは、なるべく涼しい場所に保管してください。
- 氷点下(0℃以下)ではバッテリーの特性が著しく低下するため、バッテリーの劣化状況によっては急峻な電圧低下が発生しアラーム表示せず電源が落ちる場合があります。

長期保管方法

保管は、振動・ほこり・高温・低温・多湿・直射日光を避けた場所で行なってください。

掃除の方法

18項の清掃方法を確認し、実施してください。

1 各部の名称および外観図

1.1 本体

<<本体 正面>>



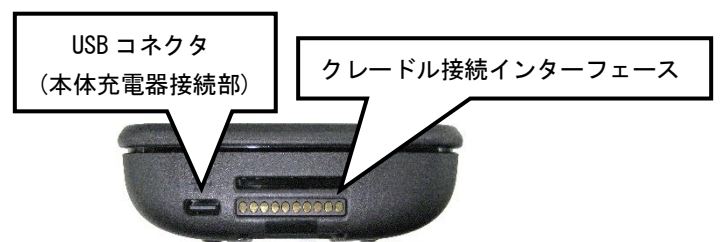
<<本体 裏面>>



<<本体 上面>>



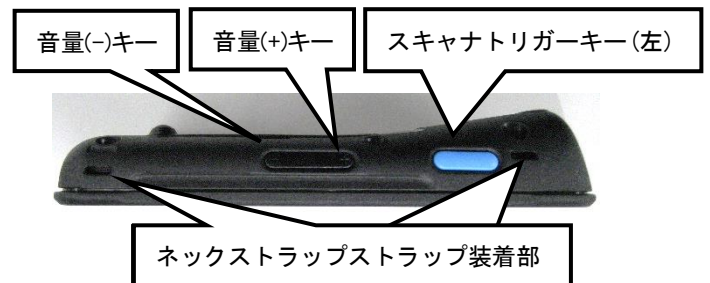
<<本体 下面>>



<<本体 右側面>>



<<本体 左側面>>



※リアカメラは FHT621SC のみ搭載されています。

※二次元スキャナは FHT621SV、FHT621SC、FHT621SW に搭載されています。

※NFC は FHT621SV、FHT621SW、FHT620SN に搭載されています。

※自動販売機通信は FHT621SV、FHT621SW に搭載されています。

1.2 LAN クレードル/USB クレードル

＜＜LAN/USB クレードル 前面＞＞

接続端子



通信ランプ

＜＜LAN クレードル 背面＞＞

DC IN コネクタ



LAN コネクタ

＜＜USB クレードル 背面＞＞

DC IN コネクタ



ケーブルクランプ

USB Type-C コネクタ

1.3 本体 4 連充電器

＜＜本体 4 連充電器 上面＞＞



充電端子

＜＜本体 4 連充電器 側面＞＞



DC INコネクタ

2 最初に行う作業(セットアップ)

工場出荷後、初めて本製品の電源を入れると、Android(以降、OS)が起動され、その後、セットアップが開始されます。電源の入/切方法については以下をご参照ください。

≫参照先≫「3.1 電源を入れるには/切るには」

表示されるセットアップ画面の指示に従い、本製品の初期設定を行ってください。

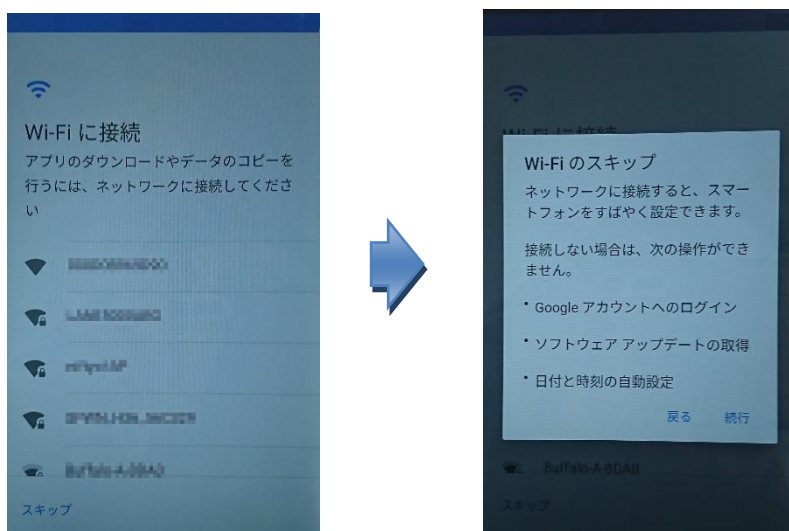
① 「ようこそ」画面が表示されます。

「日本語(日本)」が選択されていることを確認し、「開始」ボタンを押下してください。

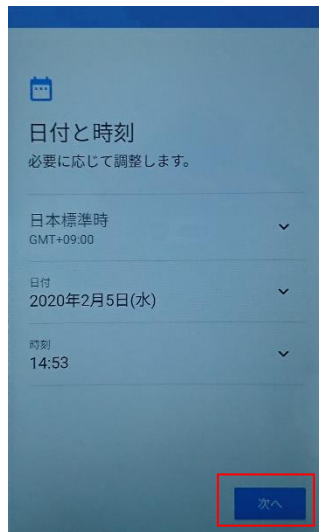


② 「Wi-Fiに接続」画面が表示されます。

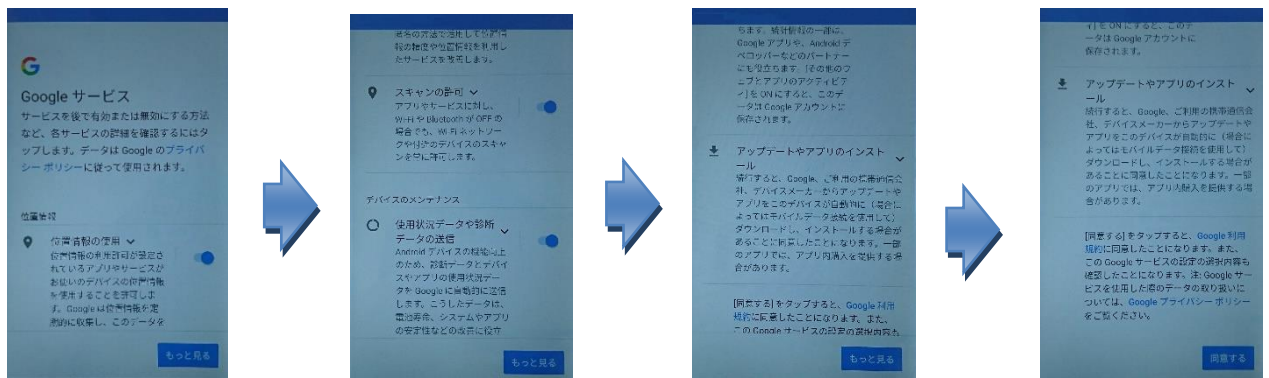
必要に応じてWi-Fiに接続してください。ここでは「スキップ」の例を示します。



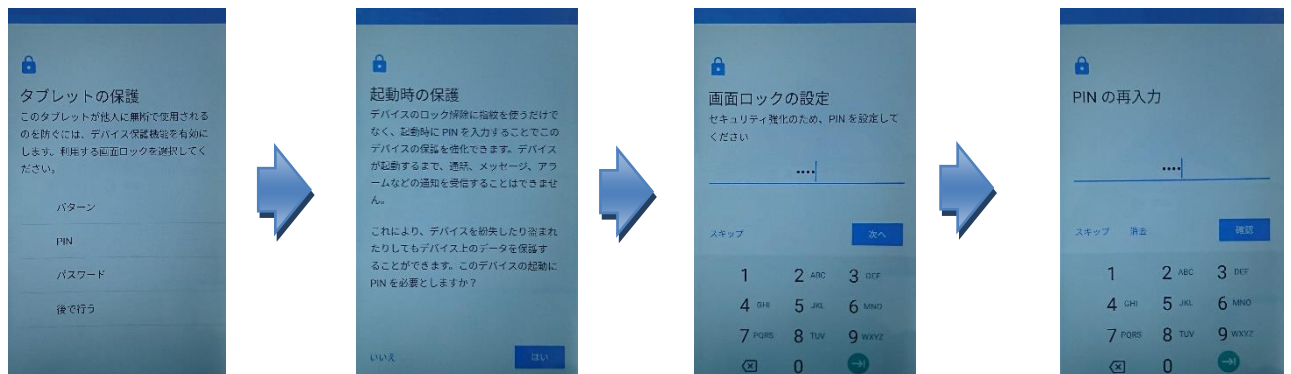
- ③ 「日付と時刻」画面が表示されます。
本製品の工場出荷時は、日付、時刻が正しくない可能性があります。本画面にて正しい日時に設定してください。



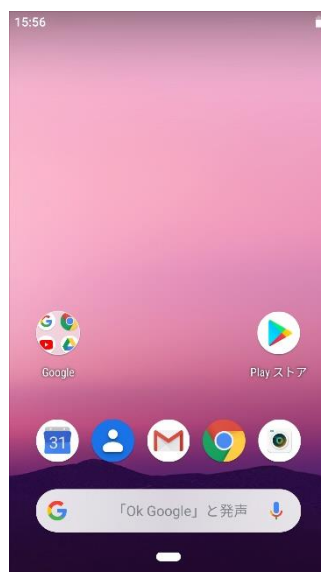
- ④ 「Google サービス」画面が表示されます。
必要に応じ設定を変更し、「同意する」ボタンを押下してください。



- ⑤ 「タブレットの保護」画面が表示されます。
画面ロックによるセキュリティを確保してください。ここでは PIN による画面ロックの設定例を示します。



- ⑥ セットアップが完了すると、ホーム画面が表示されます。
バックグラウンドでプレインストールアプリのインストール処理が実行されていますので、1分程お待ちください。



- ⑦ アプリケーション一覧画面に青いプレインストールのアプリアイコンが表示されていれば、セットアップ完了です。



▲注意

- Android のセットアップ中は、電源を切らないでください。
装置のデータが破損し、起動できなくなる可能性があります。
- セキュリティ保護のため、作成したパスワードは、必ず他人に推測されにくい複数桁を指定してください。
また、作成したパスワードは他人に公開しないでください。
- タブレットの保護にてセキュリティを設定していない場合、電源オンで装置を使用できてしまうため、パスワードを設定して頂くことを推奨します。
- ユーザー名、パスワード名は、画面のスクリーンキーボードから入力できます。工場出荷時には、デフォルトとしてコンピュータ名が「FHT」に設定されています。
お客様の運用環境に応じて、コンピュータ名の変更等を行ってください。
- プレインストールアプリが表示されていない場合は、装置を初期化してください。

3 本製品の使用方法

3.1 電源を入れるには/切るには

3.1.1 電源を入れるには

本製品を梱包箱から取り出した後、本製品を満充電にしてください。
充電完了後、[電源]キー(電源キー)を Fujitsu のロゴが表示するまで押してください。
電源が投入され、画面が表示されます。

3.1.2 電源を切るには <<重要>>

電源が入っている状態で、[電源]キー(電源キー)を長押ししてください。

下記の画面が表示された後、「電源を切る」をタップしてください。



▲注意

<<重要>>

- 本製品の動作中(※)は電源を切らないでください。次回、OS が正常に起動しなくなる場合があります。
※起動処理中、終了処理中、データのバックアップや復元中等。
- バッテリーを交換する場合は、必ず本製品の電源を切って(シャットダウンして)から交換してください。
動作中にバッテリーを交換すると、本製品の電源が強制オフされ、入力中のデータが消去される場合があります。

3.2 音量を調節するには

本製品左側面の音量キーを押して音量を調節してください。

キー名称	動作
音量 (+) キー	音量を Up します。
音量 (-) キー	音量を Down します。最小(ミュート)まで下げることができます。

3.3 スリープ状態について

本製品は運用時間を延ばすことを目的として、一定時間無操作が続いた場合、本製品をスリープ状態にする機能が搭載されています。以下の操作によりスリープ状態から復帰します。

- ・電源キー、およびトリガーキーの操作
- ・クレードル(AC 電源)の着脱

4 バッテリーの使用方法

4.1 バッテリーについて

- **バッテリーの種類について**
本製品ではバッテリーとして、充電式バッテリー(リチウムイオンバッテリー)を使用しています。
- **バッテリーの寿命の目安について**
バッテリーの寿命は、その使用条件(使用環境温度、充電時間、充電周期など)にも依存しますが、約 500 回の充放電、もしくは新規購入時から約 2 年を目安としてください。
バッテリーの寿命は、周囲温度や本製品の使用状況などの運用条件で変わりますので、上記の充放電回数、使用年数よりも少なくなることがあります。
バッテリーは使用するにしたがって、使用時間が短くなる特性があります。充電を行っても使用時間が著しく短くなる場合には、バッテリーの寿命ですので、新しいバッテリーと交換してください。
- **時計・カレンダーのバックアップ時間について**
時計・カレンダーのバックアップは、バッテリー残量がない状態で、最大約 3 分、保持可能です。設定が初期化された場合は、起動時に再設定をお願いします。
>>参照先>> 「2 最初に行う作業(セットアップ) ③」
- **充電時期を知らせるメッセージ画面の表示について**
本製品では、バッテリーの残容量がアラーム値(15%)になった場合、OS からバッテリーアラームが通知されます。
バッテリーアラームが通知された場合は、速やかにバッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

4.2 バッテリーの充電

初めて本製品を使用される場合、および充電の警告メッセージが表示された場合には、バッテリーを充電してください。

- 本製品のバッテリーは、必ず本製品専用の充電器にて充電を行ってください。
- クレードルの充電については「17 外部機器との接続」をご参照ください。

充電器の種類	充電時間	本製品充電ランプ
USB クレードル(FHTUA621S)	装置 SLEEP 時:約 4 時間以下	[充電中] 橙点灯
LAN クレードル(FHTUL621S)	装置 OFF 時 :約 4 時間以下	[充電完了] 緑点灯
本体 4 連充電器(FHTMA621S)	※標準/高容量バッテリー共に同じ	[充電異常] 赤点灯
本体充電器(FHTAC621)	装置 SLEEP 時:約 4 時間以下 装置 OFF 時 :標準バッテリー 約 5 時間以下 :高容量バッテリー 約 10 時間以下	[充電中] 橙点灯 [充電完了] 緑点灯 [充電異常] 赤点灯

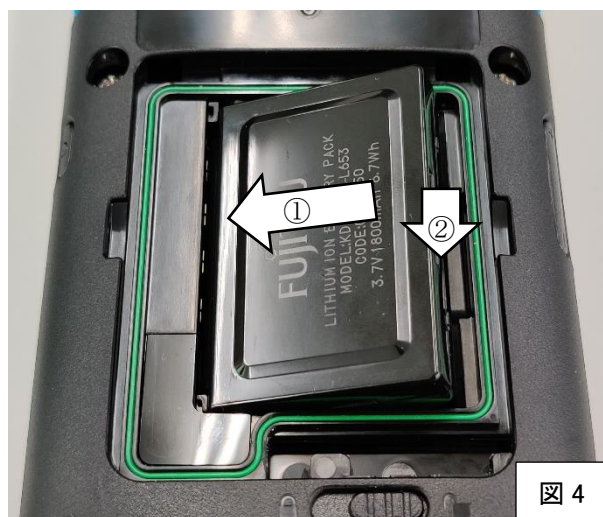
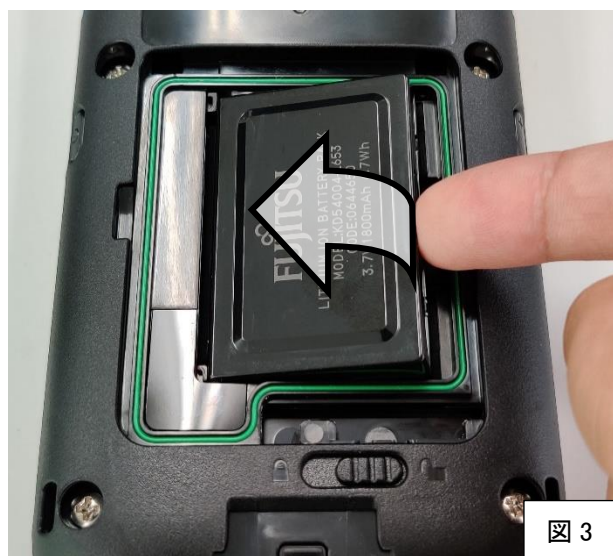
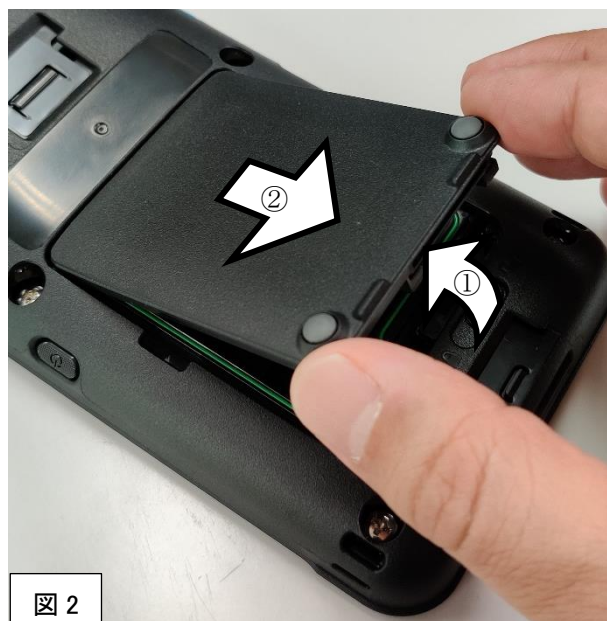
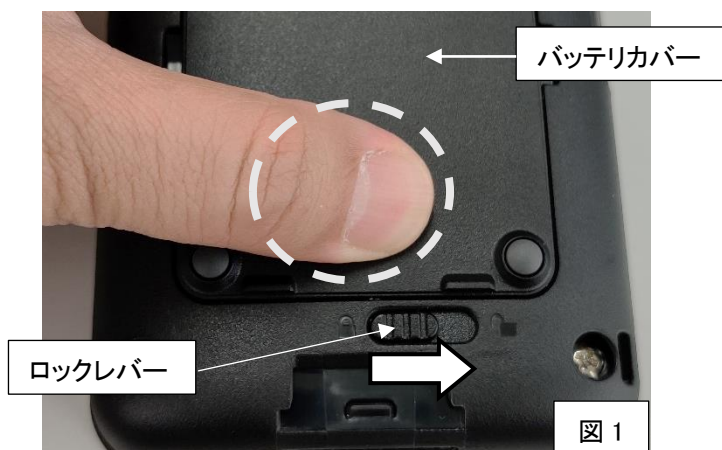
▲注意

- 本製品は一日に一回充電することを推奨しています。
- 充電が終了するまでは、AC アダプタをコンセントから抜かないでください。
- 充電中にバッテリー交換を行うなど、正しい充電を行わない場合、容量表示が狂う場合があります。
- クレードル、AC アダプタは専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、電圧、電流容量などの差異によって、本製品を損傷することがあります。
- バッテリーを長持ちさせるため、常温環境(10~30℃)で充電してください。
- バッテリー容量が低下している状態でも、充電を行うことで、本製品を起動することができます。
ただし、バッテリーに対し、十分な充電が行われていない状態で、クレードルより取り外された場合、その時点で電源断が発生する可能性がありますのでご注意ください。

4.3 バッテリーの交換方法

バッテリーの交換は、必ず本製品をシャットダウンしてから、以下の手順で交換を行ってください。

- ① バッテリーカバーを押さえながら、ロックレバーを矢印の方向に動かしてください。(図 1)
- ② バッテリーカバーを矢印の順番で取り外してください。(図 2)
- ③ 矢印のくぼみに指を引っ掛けバッテリーを取り外してください。(図 3)
- ④ 新しいバッテリーを矢印の順番で挿入してください。(図 4)
- ⑤ バッテリーカバーを閉じ、ロックをしてください。



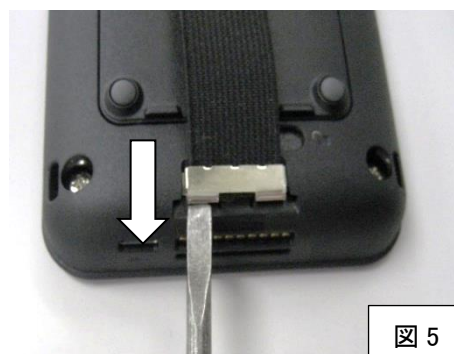
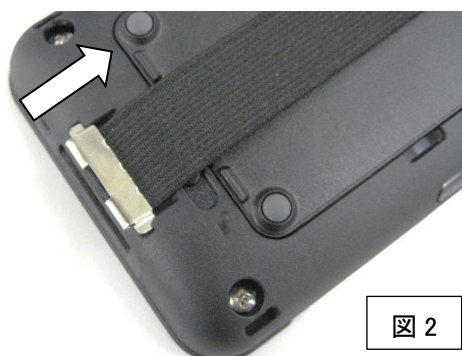
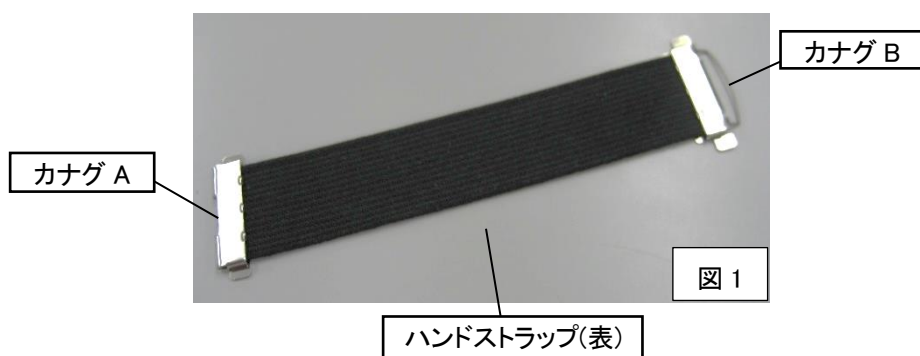
▲注意

- ロックレバーのスライドはペン等を使用してください。爪での操作はけがの原因となるため、行わないでください。
- 電源がついている状態で、バッテリーの引き抜きは行わないでください。保存していない入力中のデータが失われ、再起動時にOSのエラー画面等が表示されるなど、正常起動ができない場合があります。

5 ハンドストラップの取り付け

本製品は落下防止のため、ハンドストラップを添付しております。以下の手順で装着してください。

- ① ハンドストラップ(図 1)の裏表に注意し、カナグ A を本体下側の取り付け部にはめ込みます。(図 2)
- ② ハンドストラップのカナグ B を本体上側の取り付け部にはめ込んで完了です。(図 3)
- ③ 電池交換等でハンドストラップを外す際は、カナグ B を下に押し込みながら矢印の方向にずらしてください。(図 4)
また、ハンドストラップを本体から取り外す際は、上記のカナグ B から先に外し、(図 5)のようにマイナスドライバーを挿し込み、カナグ A を矢印の方向にずらしてください。



6 ネックストラップの取り付け

本製品には落下防止のため、ネックストラップを用意しております。以下の図のようにストラップを装着してください。ネックストラップは、上下どちらでも取り付けることができます。



7 スタイルスペンの取り付け

スタイルスペンをご使用の場合は、以下の方法にて装着してください。

- ① スタイルスペンの穴に紐を通し、取り付けます。(図 1)
- ② ネックストラップ同様に本製品に取り付けます。(図 2) または、ネックストラップのリング部分(図 3)に取り付けし、スタイルスペンをネックストラップに収納してください。(図 4)



図 1



図 2



図 3



図 4

8 microSD カードの取り扱い

- ① microSD カード挿入の際、カバーフィルムをめくり、カチッと音が出るまで矢印方向に差し込んでください。(図 1)
 - ② microSD カード取り外しの際、カバーフィルムをめくり、カードを矢印方向に押し込んで外してください。(図 2)
- ※カバーフィルムがめくり難い場合、先の細いものでめくってください。



挿入方向

microSD(表)

カバーフィルム

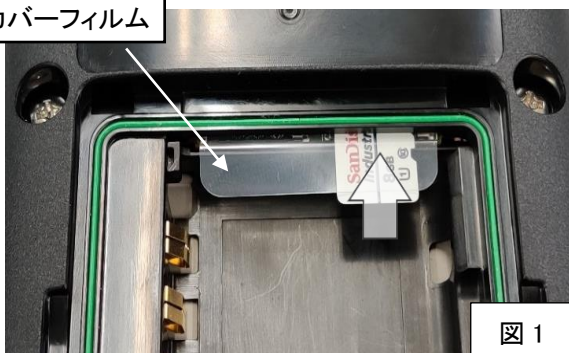


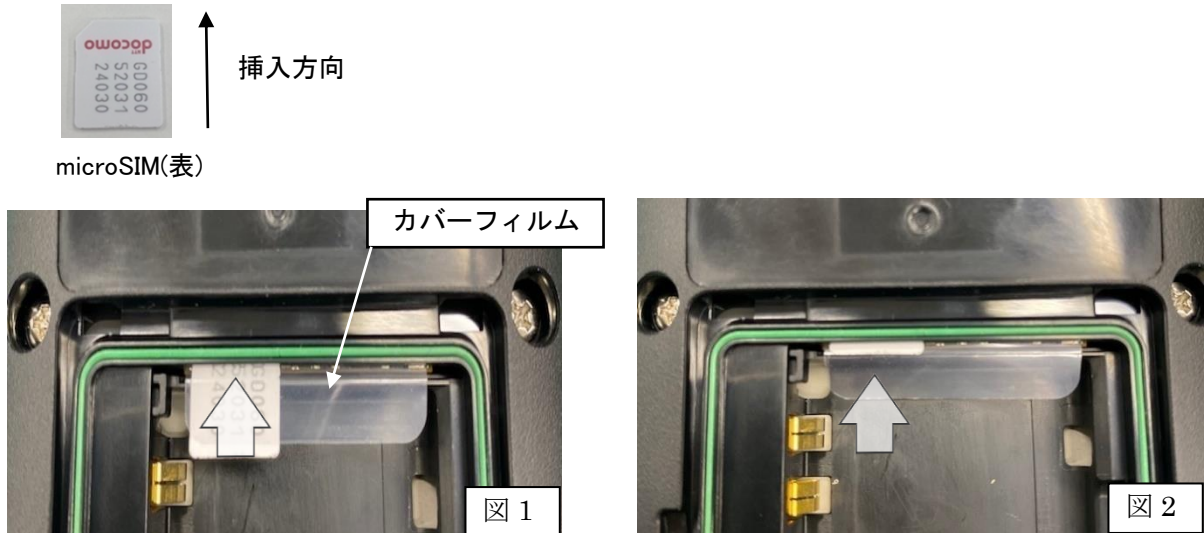
図 1



図 2

9 microSIM カードの取り扱い

- ① microSIM カード挿入の際、カバーフィルムをめくり、カチッと言うまで矢印方向に差し込んでください。(図 1)
 - ② microSIM カード取り外しの際、カバーフィルムをめくり、カードを矢印方向に押し込んで外してください。(図 2)
- ※カバーフィルムがめくり難い場合、先の細いものでめくってください。



10 カメラの取り扱い

本製品にあるフロントカメラとリアカメラについて、下記の注意事項に従って、取り扱いってください。
※横向きで撮影すれば、横向きの写真も取れます。



⚠注意

- 撮影時は周囲の状況に注意を払う
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。
- 運転中に使用しない
運転をしながら、撮影することは絶対おやめください。事故の原因となります。
- フラッシュ LED の撮影補助光を至近距離で人に向けない
至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。また、運転者に向かって使用すると目がくらみ、事故を起こす原因となります。
- 著作権・肖像権について
展示等の著作物や実演や興行には、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- その他
 - ・撮影前にカメラ部レンズが汚れていないかご確認ください。
レンズに指紋や汚れが付着すると、画質が悪くなることやピントが合わなくなる可能性があります。
レンズにゴミや汚れが付着した際は 直接手を触れずに柔らかい布で軽くふき取ってください。
 - ・日光及び強い光に向けて撮影しないでください。正しく撮影ができない場合や視力障害を起こす可能性があります。
 - ・強い電波や磁気が発生する場所や放射線のある場所での使用は避けてください。正しく撮影ができないことがあります。
 - ・フラッシュLED部レンズの汚れを定期的に取り除いてください。汚れが付着していると、十分に発光できない場合があります。

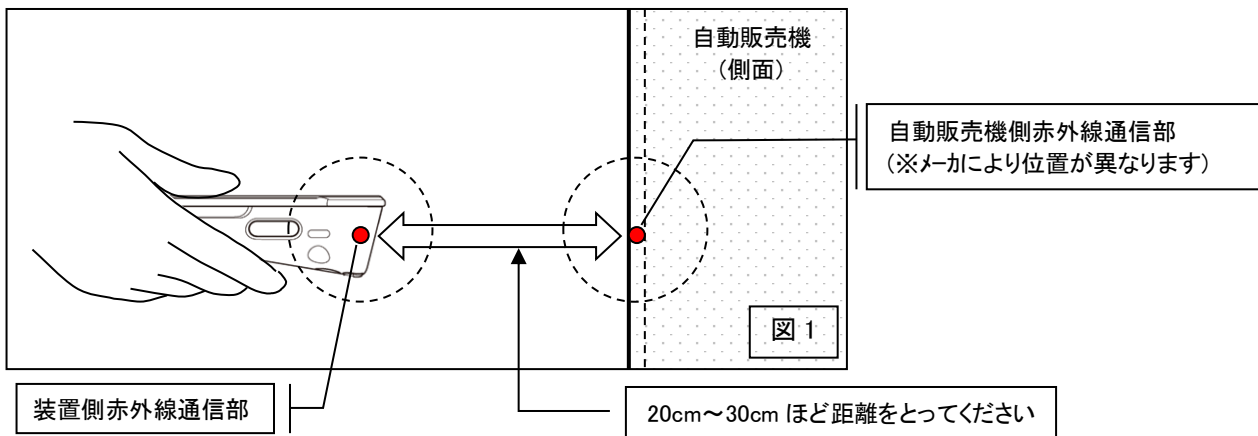
11 自動販売機との通信

自動販売機との通信は、本製品上部にある自動販売機部にて行われます。自動販売機と通信する場合は、専用のライブラリが別途必要となりますので販売元にご相談ください。

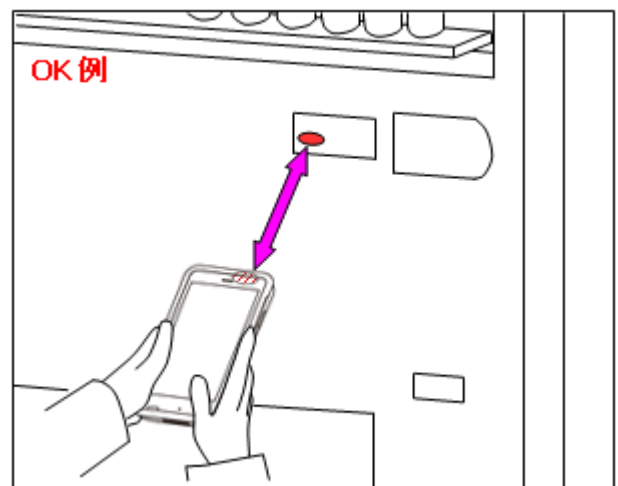
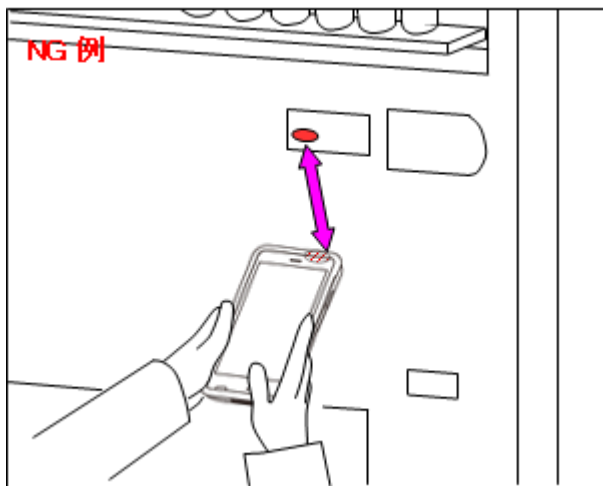
11.1 通信時の操作方法

自動販売機との通信にあたり、下記の操作方法に従ってください。

- ① 通信を行う前に、通信部の窓が汚れていないか確認してください。
もし、汚れていた場合は、乾いた布を使用して汚れを落としてください。
- ② 図1のように自動販売機に対して本製品を傾け、0cm～30cmの距離の間で通信を行ってください。



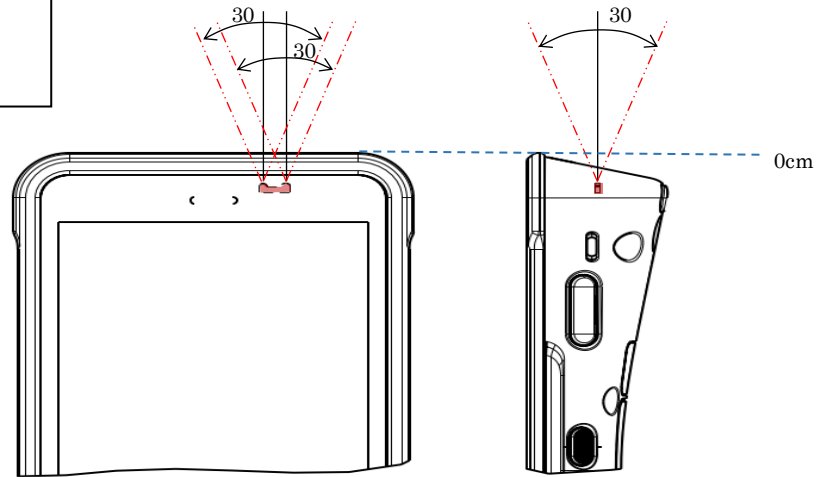
- ③ 下図右 OK 例のように自動販売機の赤外線通信部と装置の赤外線通信部をまっすぐ向けた状態でデータ通信を行ってください。



11.2 装置の通信可能範囲

装置の通信距離・角度に関しましては、下図を参考にしてください。

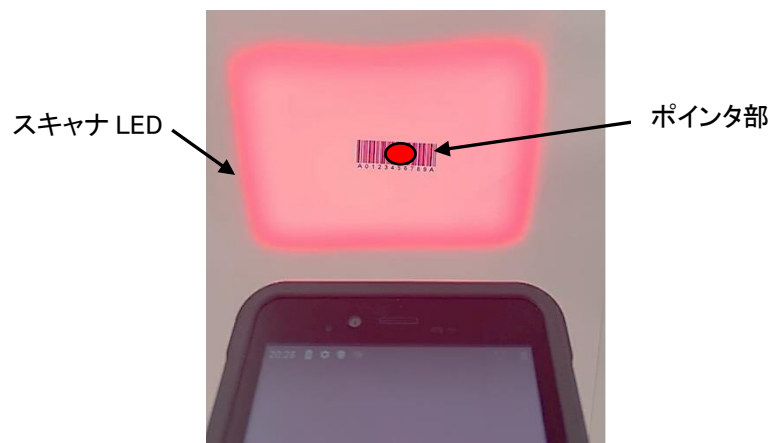
■通信可能範囲
上下角度:30°
左右角度:30°
通信距離:0~30cm



12 スキャナの取り扱い

12.1 スキャナの操作方法

- ① トリガーキーを押します。
- ② スキャナLEDのポインタ(円の部分)をバーコードに向けてください。
- ③ 読み取り完了すると、LED発光が自動的に止まります。



▲ 警告

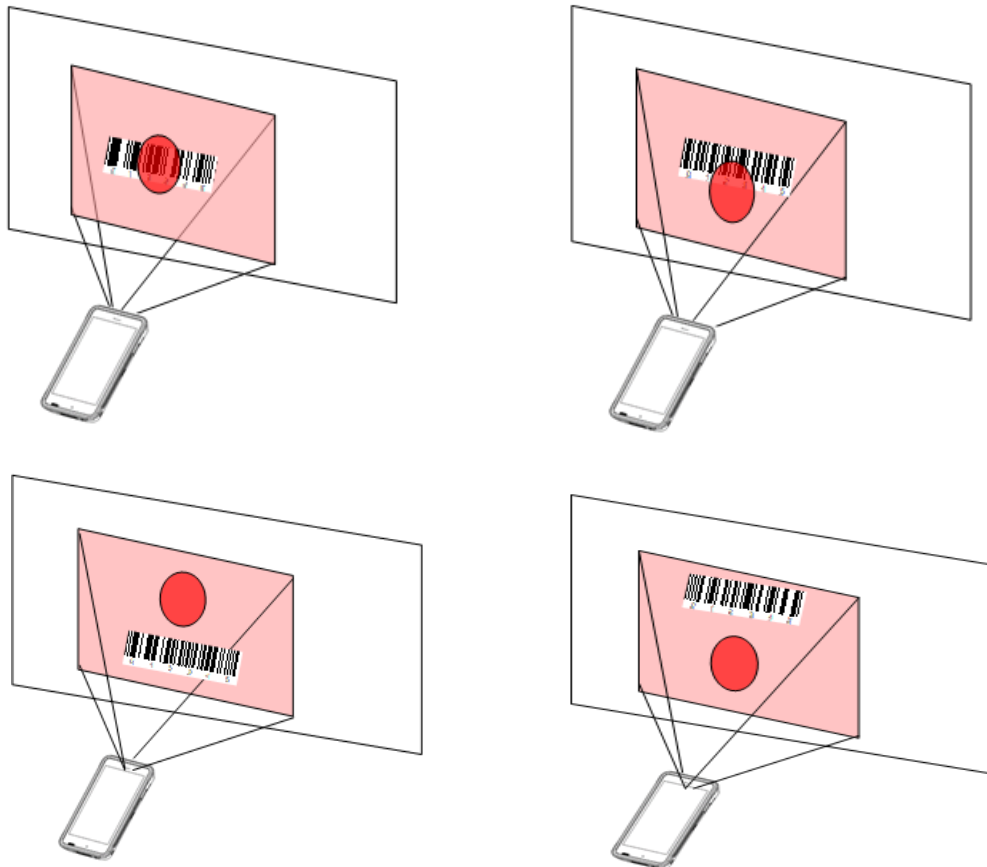
- スキャナ LED 光が照射されているときは、読み取り窓を見つめたり、他人に向けたりしないでください。目を痛める恐れがあります。

12.2 二次元スキャナの読み取り動作

スキャナの読み取り動作は以下になります。

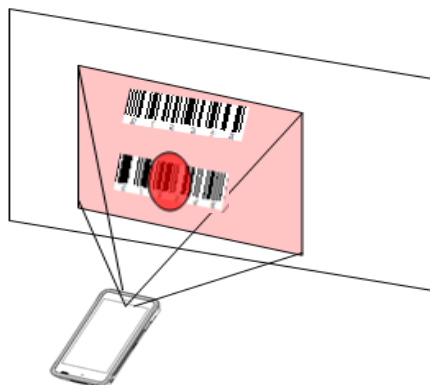
工場出荷時の初期設定では、中心読みモードの設定はされていないため、スキャナ LED のポインタ(円の部分)にバーコードが重なっていない場合でも読み取ることができます。

【工場出荷時】



読み取れない場合はバーコードにあてる位置、バーコードと装置の角度や距離を変えて読み取りを行ってください。また、下図のように複数個バーコードが近接していて、どちらか一方のみを読み取りたい場合、中心読みモードを有効にしてください。中心読みモード有効時は、スキャナ LED のポインタ(円の部分)に重なっているバーコードのみ読み取りします。

【中心読みモード有効時】

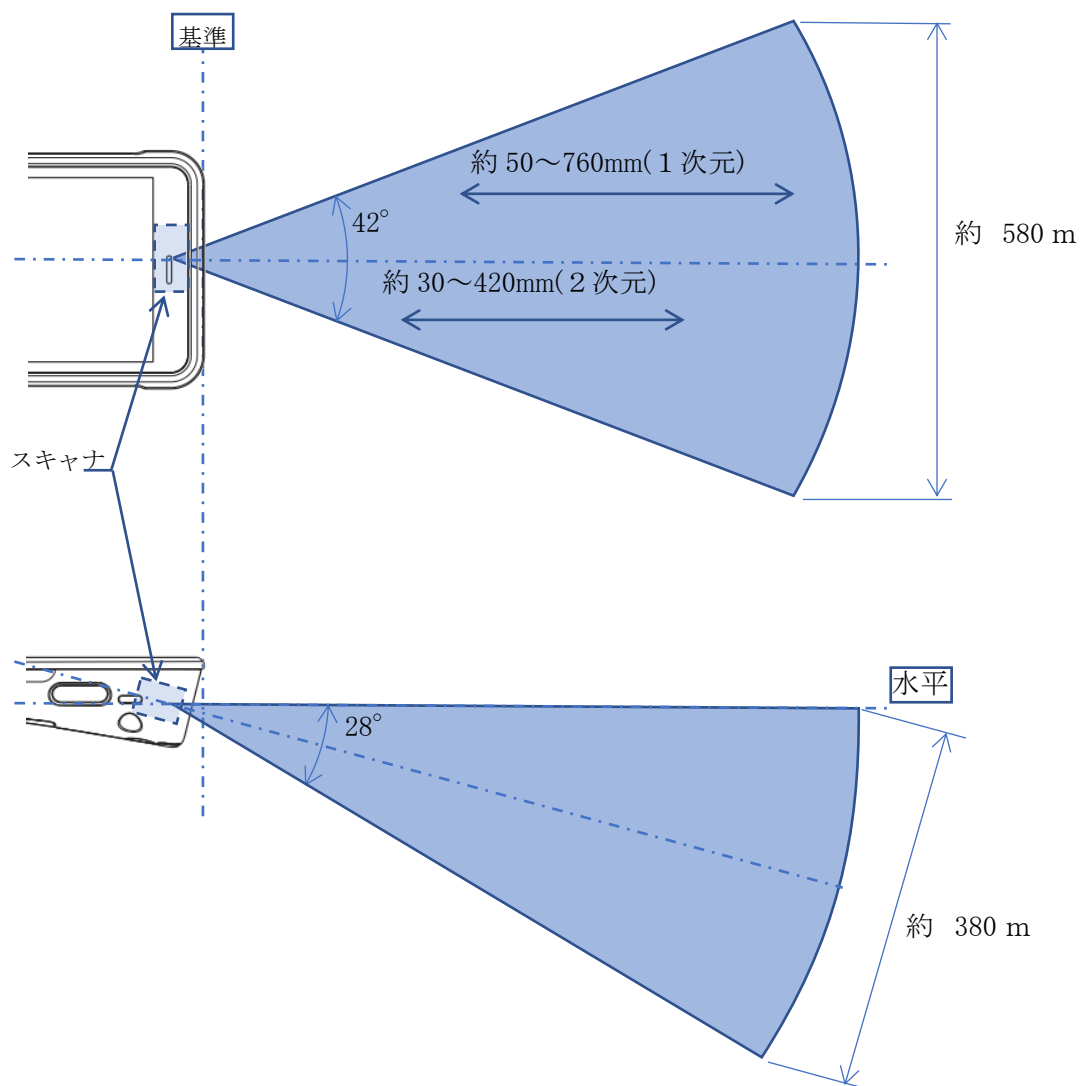


12.3 二次元スキャナの読み取り特性

読み取り深度と角度については以下仕様となります。

項	仕様
深度	50～760 mm (分解能 0.508mm、1次元:Code39) 29～422 mm (分解能 0.508mm、2次元:QR code)
角度	水平 42°、垂直 28°

※一次元バーコード(分解能 0.508mm 時) 二次元バーコード(分解能 0.508mm 時)



▲注意

●図に示す読み取り幅は、読み取り範囲を示すものであり、この幅のバーコードの読み取りを保証するものではありません。

12.4 バーコードサンプルチャート

スキャナが故障したのかどうかを切り分けるために使用します。お使いのバーコードが読み取れない場合、下記のサンプルを使用して動作確認をお願いします。

12.4.1 一次元コードサンプル

NW7



JAN標準(EAN-13)



JAN短縮(EAN-8)



UPC/E



UPC/A



Code 39



Code 93



Code 128



EAN128



InterLeaved 2of 5



GS1 Databar Omnidirectional



(01) 0 0123456 78901 2

GS1 Databar Limited



(01) 0 0000012 34567 0

GS1 Databar Expanded



(01) 0 0614141 00001 2

GS1 DataBar Stacked



(01) 0 0614141 00001 2

GS1 DataBar Stacked Omnidirectional

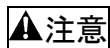


(01) 0 0123456 00001 8

GS1 Databar Expanded stacked



(01) 0 1234567 89012 8 345



●印刷状態によっては、この通りに読めない場合があります。

12.4.2 二次元コードサンプル

QR Code



1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G

microQR Code



1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G

PDF 417



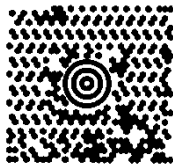
1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G

Data Matrix(ECC200)



1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G

Maxi Code



1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F G

郵便コード(カスタマバーコード)



0 1 2 3 4 5 6

EAN/UPC Composite



EAN128 Composite

(17) 050923 (10) ABC123



(01) 0 4012345 67890 1 1



●印刷状態によっては、この通りに読めない場合があります。

13 NFC リーダ/ライタについて

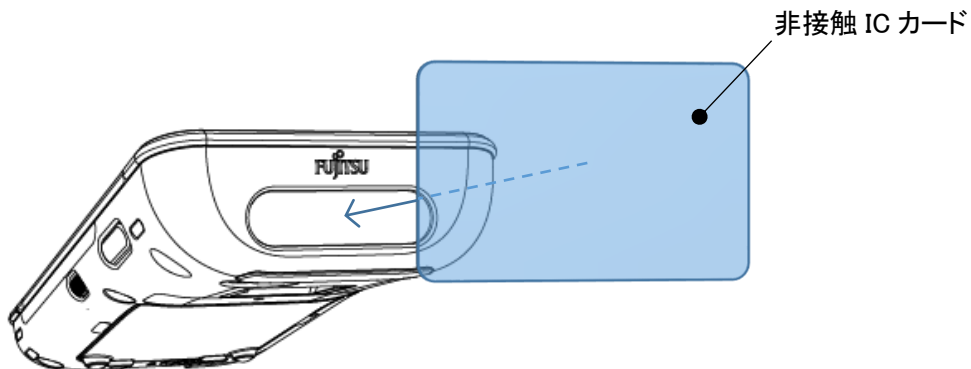
下記カードにてリード/ライト可能です。

- MIFRE(ISO/IEC 14443 Type A)
- ISO/IEC 14443 Type B
- Felica

以下の図のように本製品とICカードをつけて読み取りを行ってください。

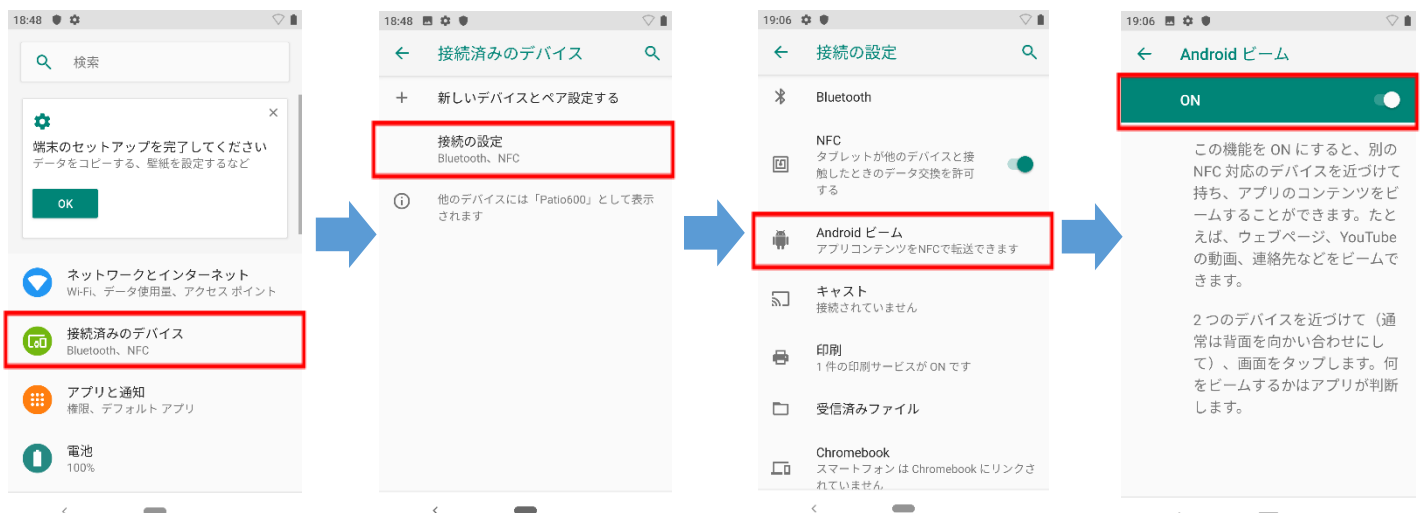
※非接触ICカードを使用する際には、下記に十分注意してご使用ください。

- アンテナやICカードの周囲に金属が存在すると、読みにくくなる場合があります。カードケースに金属が入っている場合は取り出して使用してください。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他の同じ周波数帯を使用する機器が存在する場合、本製品の通信に影響を及ぼす可能性がありますので、十分離して使用してください。本製品を並べて、非接触ICカードを読み取る場合、本製品同士の間隔を5cm以上あけてください。



本製品同士を近づけると、Android 標準機能である「Androidビーム」が動作します。

Androidビーム機能が不要な場合は、以下の手順で設定アプリからOFFしてください。



14 Bluetooth について

本製品は電波法で定められた技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内での使用目的において無線局の免許は必要ありません。

本製品で使用する 2.4GHz 帯の周波数は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか、工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定省電力無線基地局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。

ご使用する前に、本製品の干渉距離内に同周波数を使用する機器が運用がされていないことを確認してください。

使用周波数 2.4GHz
変調方式 FH-SS 方式
想定干渉距離 100m 以下

▲注意

- 2.4GHz 帯の周波数は、水分等に吸収され電波強度が弱ります。通信にあたっては人体や大きな水槽などを間に挟まないでください。また、金属物による影響も受けますのでスチール机に置いた状態で使用したり、本製品と接続機器との間に金属板を挟まないでください。
- 本製品は、無線 LAN との同時使用が可能です。ただし、デバイスサーチ時、および Bluetooth 機器との接続時には無線 LAN への干渉が発生しますので、十分に注意してご使用ください。

15 無線 LAN について

本製品は、5GHz 帯の IEEE802.11a と 2.4GHz 帯の IEEE802.11b/11g の 2 つのインターフェースを持ち、IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g の 3 つの通信方式を使用することができます。この 3 つの通信方式はそれぞれ周波数や変調方式が異なるため、電波到達距離等の特性が異なります。最適な通信方式を選択するため、各モードの特性について理解してください。また、本製品では、IEEE802.11n もサポートしています。802.11n では、5GHz の帯域のみで高速通信 (Max:300Mbps) を行うことができます。

[IEEE802.11a について]

IEEE802.11a が使用する 5GHz 帯は、通信を妨げるノイズ源や妨害電波を発生する機器が 2.4GHz 帯と比較すると少ないため、よりスムーズな通信が期待できます。

無線 LAN 端末が IEEE802.11a に対応している場合、この通信方式で通信することを強く推奨します。

ただし、IEEE802.11a を使用する場合、IEEE802.11b、IEEE802.11g と比較して電波の直進性がより強くなるため、柱や棚などの影に電波が回りこみにくくなり、電波の遮蔽物が通信距離に大きな影響を与えます。

結果、IEEE802.11b、IEEE802.11g に比べて多くの無線 LAN 基地局を必要とします。

サーベイ(無線環境調査)は本製品を使用し、必ず実際に使用する無線基地局・通信方式、および環境で行ってください。

*5GHz 帯の W52,W53 は、屋外での使用が禁止されています。屋外での使用可能な周波数帯は W56 のみとなります。

[IEEE802.11b/IEEE802.11g について]

2.4GHz 帯を使用する IEEE802.11b と IEEE802.11g は、5GHz 帯を使用する IEEE802.11a と比較すると、通信距離は長くなる傾向がありますが、同周波数帯は、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器、他の無線局等が数多く運用されています。このため、事前のサーベイ(無線環境調査)をより入念に行う必要があります。

もしも、2.4GHz 帯を既設の機器が使用している、もしくは 2.4GHz 帯にノイズ源が存在している場合、既設の機器を含め周波数帯の調整が必要になる場合もあります。

また、システム導入後も、無線 LAN が使用する帯域に影響を与える機器や、ノイズを発生する可能性のある機器が近くで設置された場合、通信に支障が生じる可能性がありますので注意が必要です。

サーベイ(無線環境調査)は、必ず使用する通信方式で行ってください。

[IEEE802.11n について]

IEEE802.11n は、隣り合う 2 つの Channel を束ねて通信することにより、高速通信を実現しています。

IEEE802.11a/b/g では、1 つの Channel が 20MHz ですが、2Channel 分の 40MHz で通信することにより伝送速度を 2 倍以上にすることが可能です。

本製品では、アンテナを 2 本内蔵していますので、理論上 Max300Mbps での通信が可能となります。

しかしながら、2.4GHz での通信においては、他の無線基地局の干渉を受けやすくなり、電波品質が劣化する可能性があります。そのため、IEEE802.11n 未対応のクライアント、無線基地局が存在する環境では、IEEE802.11n としては、5GHz 帯域を使用することを推奨します。

また、他のクライアントや無線基地局の使用 Channel に影響を与えないためにも、事前のサーベイ(無線環境調査)をより入念に行う必要があります。

▲注意

- 電子レンジ、セキュリティゲート、デジタルコードレス電話などのノイズを発生させるおそれのあるものの近くで、本製品を使用すると、通信が出来ない場合があります。(IEEE802.11b/IEEE802.11g の場合)
- テレビ、ラジオ、他の無線機とは離して本製品を使用してください。
- 本製品では、IEEE802.11 の通信モード(a/b/g/n)を個別に選択することはできません。無線基地局側で通信モードを設定してください。
- 無線 LAN で通信中、本製品を LAN クレードルに搭載すると、無線 LAN 接続は自動で無効になりますので注意してください。(LAN クレードルに LAN ケーブルおよび HUB が接続されており、且つ設定がされている場合のみ)LAN クレードルから取り外すと、無線 LAN 接続は自動復旧します。
- 無線 LAN に接続できない、または、無線 LAN 通信が行えない場合、電源キーを押し Sleep(画面 OFF)をした後、再度、電源キーを押し Sleep 復帰(画面 ON)を試してください。

16 LTE について

本製品の LTE 対応モデル(FHT621SW)では、LTE 通信を使用することができます。
(本製品はデータ通信のみをサポートしています。)

16.1 LTE の接続設定

「設定」アプリより、「ネットワークとインターネット」を選択し、「モバイルネットワーク」を選択します。
「モバイルネットワーク」を ON にします。



▲注意

●モバイルデータ通信有効後、LTE(4G)が有効になるまで時間が掛かる場合があります。

16.2 APN の設定

SIM カードの契約内容によっては、APN 設定が必要な場合があります。APN は以下の手順で設定してください。
「モバイルネットワーク」より、「アクセスポイント名」を選択します。APN の一覧より、ご使用 APN のチェックボックスをタップし、チェックを入れてください。



APN 一覧にない場合、右上の「+」マークを選択し、契約した SIM カードの APN 情報を入れてください。



17 外部機器との接続

17.1 LAN/USB クレードル・本体 4 連充電器との接続

- ① 本製品およびクレードルまたは、本体 4 連充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合は清掃を実施してください。
➤参照先➤「18 清掃方法」
- ② 本製品とクレードルまたは、本体 4 連充電器の端子をあわせるようにして本製品をクレードルにセットしてください。



▲注意

- 本製品またはクレードルの端子が汚れている場合、正常に充電や通信が行えない場合があります。
- 本製品またはクレードル接続インターフェースが濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本製品をクレードルに接続する時は、できるだけ静かに載せるようにしてください。
- 本製品の充電ランプ・通信ランプが点灯しない場合や、クレードルに接続しているデバイスを正しく認識できない場合は、本製品をクレードルから一旦外して、再度接続しなおして下さい。
- クレードル装着直後に本製品を取り外さないでください。特に、装着直後の通信ランプ点灯中(数秒間)に取り外した場合、PCが本製品を認識しなくなる場合があります。認識しなくなった場合は、本製品を再起動してください。
- 充電ランプが赤色に点灯した場合は「20. 故障かなと思ったら」に記載内容について確認をしてください。

17.2 本体充電器との接続

- ① 本製品の USB コネクタ(本体充電器接続部)に本体充電器の USB Type-C コネクタを接続してください。

充電ランプ



▲注意

- 本体充電器のUSB Type-Cコネクタは表/裏に関係なく両面挿すことができます。
- 本体充電器を本製品から抜く際は、プラグを持ち抜いてください。
- 本製品のUSBコネクタ(本体充電器接続部)が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本製品のUSBコネクタ(本体充電器接続部)に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- 本製品のUSBコネクタ(本体充電器接続部)のすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本装置を10回程度振るよう押し当てて確実に取り除いてください。
 - ・拭き取り後に USBコネクタ(本体充電器接続部)のすき間に水滴が無いことを確認してから充電してください。
 - ・破損の恐れがありますので、隙間に溜まった水滴を綿棒等で直接拭き取らないでください。



]

18 清掃方法

清掃は、必ず電源を切った後に行ってください。また各部の清掃は、必ず定期的にも実施してください。

18.1 本製品カバー部

- 本製品のカバー部は、中性洗剤を薄めた水溶液に浸し固く絞った布、または乾いた布で拭いてください。ただし、水溶液を使用する場合には、布を固く絞らないと、水溶液が装置内部に入り込み、故障の原因となることがあります。なお、シンナー、ベンジン等の揮発性のもので本製品を拭かないでください。変色したり、文字が消えたりすることがあります

18.2 本製品表示部

- 本製品の表示部は、水に浸して固く絞った布、または織り目の非常に細かい眼鏡拭きで拭いてください。なお、先の尖ったものや、固形物での清掃は行わないでください。タッチパネル表面が傷つき、正常に動作しなくなる恐れがあります。

18.3 本製品スキャナ窓部

- 本製品のスキャナ窓部は、柔らかい布、または織り目の非常に細かい眼鏡拭きで拭いてください。

18.4 本製品端子接触部

- 本製品のクレードル接続インターフェース部は、定期的は無水エタノールを含ませた綿棒またはガーゼで清掃してください。端子部には無水エタノール以外は使用しないでください。溶剤の種類によっては成分が端子に付着し、接触不良になる場合があります。



▲注意

- 端子部分が汚れていると、正しく充電、USB通信ができない可能性があります。定期的な清掃してください。
- USBコネクタ(本体充電器接続部)は破損の恐れがありますので、綿棒等で直接清掃しないでください。

18.5 クレードル・本体4連充電器の端子接触部

- クレードルまたは、本体4連充電器の端子接触部は定期的は無水エタノール(エタノール)を含ませたガーゼで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、正常に充電できない場合があります。



▲注意

- 端子部分が汚れていると、正しく充電、USB通信ができない可能性があります。定期的な清掃してください。
- 強い力で清掃を行うと、端子部の変形、凹みが発生する可能性があります。清掃の際には、力を入れず丁寧な作業をお願い致します。

19 設置条件

19.1 装置本体

項目		仕様			
		FHT621SV1/2	FHT621SC1/2	FHT621SW1/2	FHT620SN1/2
外形	外形寸法	標準バッテリー W:89×D:164×H:22(32)mm ()内はスキャナ部分 高容量バッテリー W:89×D:164×H:22(33)mm ()内はバッテリー部分			
	重量	約 285g (標準バッテリー) 約 330g (高容量バッテリー)			
環境条件	動作温度/湿度	動作時: -10~50°C / 10~90% 保存時: -20~60°C / 10~95%			
	防水・防塵	IP55			
	許容塵埃量(mg/m ³)	0.168 以下			
	衝撃(耐落下)	1.5m×26 回			

19.2 クレードルに本製品を接続した状態

項目		仕様			
		FHT621SV1/2	FHT621SC1/2	FHT621SW1/2	FHT620SN1/2
外形	外形寸法	W:100×D:100×H:197mm			
	重量	約 515g (標準バッテリー) 約 560g (高容量バッテリー)			
環境条件	動作温度/湿度	動作時: 0~40°C / 30~85% 保存時: -20~60°C / 10~90%			
外部 I/F		USB Type C / LAN			

19.3 本体 4 連充電器に本製品を接続した状態

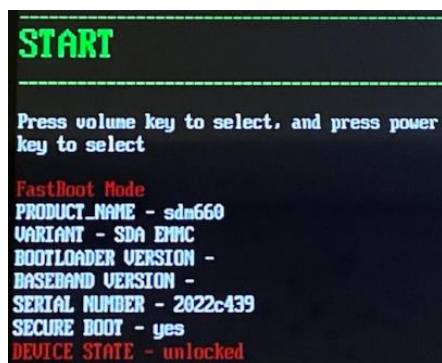
項目		仕様			
		FHT621SV1/2	FHT621SC1/2	FHT621SW1/2	FHT620SN1/2
外形	外形寸法	W:290×D:110×H:185mm			
	重量	約 805g (標準バッテリー) 約 850g (高容量バッテリー) ※本製品一台装着時			
環境条件	動作温度/湿度	動作時: 0~40°C / 30~85% 保存時: -20~60°C / 10~90%			

20 故障かなと思ったら

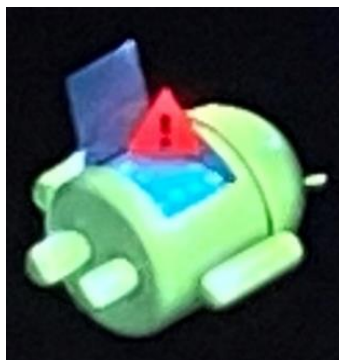
本製品を使用中に、次のような症状が出たら、担当保守員に連絡する前に、対処方法をご確認ください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電ができない。	ACアダプタのプラグがクレードルに正しく接続されていない可能性があります。	ACアダプタのプラグが正しく接続されているかご確認ください。奥に突き当たるまで確実にプラグを差し込んでください。
	クレードルに本製品が正しく接続されていない可能性があります。	本製品をクレードルに正しく接続し、充電LEDが橙か緑に点灯することを確認してください。
電源が入らない。	バッテリーの残容量が低下もしくは、寿命が考えられます。	バッテリーの充電を行うか、新しいバッテリーに交換してください。
電源がオフできない。	アプリケーション、またはOSが動作不可状態になっている可能性があります。	再起動がかかるまで、電源キーを長押ししてください。
スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量設定が「ミュート」に設定されている可能性があります。	スピーカーの音量設定をご確認ください。 >>参照先>> 「3.2 音量を調節するには」
画面が暗く、表示が見えづらい。	画面のバックライトの輝度が低い値で設定されている可能性があります。	画面のタップ操作やキー操作(トリガー、音量キー)を行い、画面の輝度が復帰することを確認してください。 >>参照先>> 「3.3 スリープ状態について」
接続したオプション機器が動作しない。	本製品に正しく接続されていない、または正しく認識できていない可能性があります。	オプション機器を本製品から一度取り外し、再度接続してください。また、本製品を再起動後、オプション機器を接続してください。
使用中に突然、再起動がかかった場合。	OSのエラーを検知して、再起動が作動した可能性があります。	再起動後、再度アプリケーションを立ち上げてください。
下記の画面1が表示された場合。	シャットダウン状態で、電源キーと音量(-)キーを同時に長押ししたことが考えられます。	音量(+/-)キーを押すと表示が変わります。START(電源ON)あるいは、Power off(電源OFF)を選択して、電源キーで決定してください。
下記の画面2が表示された場合。	シャットダウン状態で、電源キーと音量(+)キーを同時に長押ししたことが考えられます。	数分後、自動で再起動します。

<画面1>



<画面2>



21 付録

21.1 仕様

項目		仕様			
		FHT621SV1/2(*1)	FHT621SC1/2(*1)	FHT621SW1/2(*1)	FHT620SN1/2(*1)
制御部	CPU	Qualcomm Snapdragon 660 Mobile Pratform SOC (Core:2.2GHz×4、1.8GHz×4)			
	OS	Android 9 (GMS 対応)			
	RAM	3GB			
	eMMC	32GB			
表示部	LCD	5.5 インチ Full HD (1,080×1,920)/LED バックライト(*2)			
操作部	タッチパネル	静電容量方式タッチパネル			
	キー	電源キー、音量キー×2、トリガキー×2			
オーディオ	スピーカ・マイク・レシーバー	有り			
インタフェース	無線	WLAN (*3)	IEEE802.11a/b/g/n 準拠		
		Bluetooth	Ver 5.0		
	NFC	ISO14443Type-A/ Type-B、FeliCa	—	ISO14443Type-A/Type-B、FeliCa	
	WAN	— (GPS 有)	LTE/WCDMA (GPS 有)	— (GPS 有)	
	自動販売機通信	○	—	○	—
	スキャナ	2D CMOS スキャナ			—
	外部媒体	microSD カードスロット×1			
	I/F	USB Type-C(USB V2.0 準拠 HighSpeed 480Mbps 5V/1.5A max) クレードル端子:クレードル経由で USB、有線 LAN 接続可能			
カメラ	前面	約 200 万画素			
	背面	—	約 800 万画素	—	
その他機能	バイブ	○			
電源	バッテリー	種別	リチウムイオンバッテリー 1,800mAh/3,600mAh		
		充電時間 (*4)	4 時間以下		
		運用時間 (*5)	JEITA HT モード G 約 6 時間(標準バッテリー) JEITA HT モード G 約 12 時間(高容量バッテリー)		
	バックアップ	バッテリー交換時の RTC バックアップ: 3 分			
外形	外形寸法	標準バッテリー W:89×D:164×H:22(32)mm ()内はスキャナ部分 高容量バッテリー W:89×D:164×H:22(33)mm ()内はバッテリー部分			
	重量	約 285g (標準バッテリー) 約 330g (高容量バッテリー)			
環境状況	温度/湿度	動作時: -10~50℃ / 10~90% 保存時: -20~60℃ / 10~95%			
	防水/防塵	IP55(*6)			
	許容塵埃量 (mg/m3)	0.168 以下 (ステアリン酸基準)			
	衝撃(耐落下)	1.5m×26 回(*7)			

*1) 末尾 1 は標準バッテリー、末尾 2 は高容量バッテリーをそれぞれ搭載しています。

*2) 本製品の LCD は手袋モード対応です。手袋や軍手などの厚みによってはタップ/ダブルタップが認識しないことがあります。その際は、手袋や軍手などを外してご使用ください。

*3) 本製品は IEEE802.802.11ac および、IEEE802.11b/g 14ch は非対応です。
IEEE802.11a W52、W53 は電波法により屋外使用が禁止されています。

- *4) 充電時間は 100% 充電時の値です。本体充電器 (FHTAC621) で充電する場合は充電時間が変わります。
詳細は「4.2 バッテリーの充電」をご確認ください。
- *5) JEITA (社団法人電子情報技術産業協会) バッテリー動作時間測定法による。常温環境 (10°C ~ 30°C) で充電してください。
0°C 以下または 35°C 以上の環境ではバッテリー保護のため、充電を停止する場合があります。
- *6) 国際規格「IEC 529 IP55」のこと。塵埃に対する保護レベル: 5 (埃の浸入から完全に保護されているわけではないが、装置の良好
運転を妨げるような埃は浸入しない) 雨に対する防護レベル: 5 (内径 6.3mm の注水ノズルを使用し、約 3m の距離から 12.5L/分の水
を最低 3 分注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても動作に支障がない事) を持ち合わせます。
- *7) 当社社内テスト結果。電源 ON の状態で 1.5m の高さからコンクリート面に対し、26 回落下 (各箇所 1 箇所) させた後、動作に支障がなく、
メモリ情報を保持している事を確認。

21.2 添付品

	添付品	添付数量
本体	ハンドストラップ	1 本
	バッテリー	1 個
	Quick Reference Guide	1 枚
	無償保証規定書	1 枚

21.3 オプション

	型名	製品概要
USB クレードル	FHTUA621S	本製品を上に乗せることで USB2.0 との通信が可能 本製品に装着した主電池の充電機能付き (AC アダプタ添付)
LAN クレードル	FHTUL621S	本製品を上に乗せることで USB2.0 との通信が可能 本製品に装着した主電池の充電機能付き (AC アダプタ添付)
AC アダプタ (USB/LAN クレードル、携帯プリンタ用)	FHTAC621	LAN /USB クレードル用 AC アダプタ FHTAC683 (携帯プリンタ用本体充電器) は FHTAC621 に切り替え (2020 年 7 月)
本体 4 連充電器	FHTMA621S	主電池を本製品に入れたまま充電可能なユニット
本体充電器	FHTCA621	バッテリーを本製品に装着したまま充電する AC アダプタ
パック充電器	FHTCA431S	バッテリー単体を充電するためのユニット (AC アダプタ添付)
マルチパック充電器	FHTMA431S	バッテリー単体を充電するためのユニット、 最大 4 個同時に充電可能 (AC アダプタ添付)
パック充電器 マルチパック充電器用 AC アダプタ	FHTAC602A	パック充電器とマルチパック充電器用 AC アダプタ
microSD カード	FHTMSD8G	メモリ容量 8G の microSD カード
ネックストラップ	FHTNS621	本製品を首からさげて使用するためのストラップ
ハンドストラップ	FHTHS621	本製品を手のひらに固定するためのベルト
スタイラスペン	FHTPN485A	静電容量タッチパネル対応、本体ストラップホール用取り付け紐付き
USB ケーブル	FHTCB621	Type C-Type A ケーブル 2m 品
標準バッテリーセット	FHTLB620	標準バッテリーとバッテリーカバーのセット
高容量バッテリーセット	FHTLB621	高容量バッテリーとバッテリーカバーのセット
画面保護シート	FHTSCP621	本製品の画面をキズなどから保護する透明なシート
携帯プリンタ (PatioPrinter)	FHTPR431	Bluetooth 内蔵携帯プリンタ (80mm 幅、IrDA インタフェース付、AC アダプタ添付なし)
携帯プリンタ用マルチパック充電器	FHTMB331	携帯プリンタ用バッテリーを単体で充電するための充電器 最大 6 個充電可能
携帯プリンタ用キャリングケース	FHTPCS431	携帯プリンタ用キャリングケース
携帯プリンタ用ネックストラップ	FHTNS321	携帯プリンタ用のネックストラップ
無線 LAN 基地局	F7511L201	IEEE802.11an/b/g 準拠 (11n は 5GHz 帯のみサポート)
無線 LAN 基地局	F7511L202	F7511L201 + F7511AT201 (延長アンテナ) のセット
延長アンテナ	F7511AT201	F7511L201/F7511L202 専用延長アンテナ、 ケーブル長約 2.5m (F7511L202 付属と同じ)

21.4 サプライ品

サプライ品は、本製品用の純正品を富士通コワーコ株式会社よりご購入ください。
純正品以外の物を使用すると、部品寿命を早めたり、故障の原因となることがあります。

品名	商品番号	出荷単位	記事
リチウムイオンバッテリー(標準タイプ)	0644650	1 個	Patio600 本体用主電池(消耗品)
リチウムイオンバッテリー(高容量タイプ)	0644660	1 個	Patio600 本体用主電池(消耗品)
リチウムイオンバッテリー	0644210	1 個	Bluetooth 内蔵携帯プリンタ(消耗品)
FHT サーマルロール紙	0722530-P	10 巻/1 箱	80m幅、44φ 標準紙
FHT サーマルロール紙	0722560-P	10 巻/1 箱	80m幅、44φ 高保存用紙

Fujitsu Handheld Terminal Patio600
取扱説明書

2022 年 12 月 第 5 版発行

All Rights Reserved, Copyright © 富士通フロンテック株式会社 2020-2022

- ・本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります
- ・本書を無断で他に転載しないようにお願いします
 - ・落丁、乱丁はお取り替え致します
 - ・本書は、再生紙を使用しています。